

委員会活動レポート

九州新幹線整備に関する調査特別委員会

6月11日(火)

J R九州から九州新幹線西九州ルート整備に関する考えなどについて、事前に質問していた事項への回答と合わせて、説明を受けた。

【J R九州の説明】ルートについては、北回りルートや南回りルートに比べ、佐賀駅を通るルートが投資効果、時間短縮効果、利用者サービスなどの面において、優位であると考えている。

並行在来線の在り方については、整備方式、ルート、経営の在り方など、現時点では様々な要素が定まっておらず、言及することは難しい。通勤・通学、輸送など、地域にとって欠かせない役割を果たしており、利便性は地域住民にとって重要な課題であると認識している。

新幹線建設に伴う建物や在来線などの鉄道設備の移転費用等については、整備新幹線の事業費で実施されるが、負担割合は全国新幹線鉄道整備法に基づき、J Rが負担する貸付料を除いた額を、国と佐賀県が2対1で負担する。佐賀県の負担分については、佐賀県と沿線自治体である佐賀市との協議で、その一部を佐賀市に求めることができるとされている。新幹線整備に伴う駅前広場の再整備等は、市町村側で実施されるものと認識している。



6月11日の特別委員会の様子

8月7日(水)

7月24日に行われた与党検討委員会からのヒアリングに際して発言した市の意見について、執行部から説明があった。

【執行部の説明】「九州新幹線西九州ルートにおける新鳥栖－武雄温泉間については、合意の前提となっていたフリーゲージトレインの導入断念などにより、異例の事態が生じていると認識している。

与党、政府に期待することとしては、他の地域と事情が異なるため、地域の実情に照らして、これまでにない解決策が必要ではないか。また、この区間の整備の在り方について、これまでの経緯とその特殊性を踏まえて、佐賀の事情に向き合っただけ、国として何ができるかを多角的に考えてもらいたい」との佐賀市の考えを述べた。

佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

行政視察

7月17日(水) 鳥取県米子市

- 地域振興策について
- 自衛隊施設との連携（関わり方）について

7月18日(木) 石川県小松市

- 小松飛行場周辺整備協議会について
- 地域振興策について
- 自衛隊施設との連携（関わり方）について



米子市役所



小松市役所

中核市移行に関する調査特別委員会

行政視察

7月17日(水) 山梨県甲府市

- 中核市への移行について

7月18日(木) 千葉県市川市

- 中核市移行に関する取り組みについて



甲府市役所